

2025年3月9日  
昭和シェル社友会 関西支部

2025年 社友会関西支部 支部総会報告

1. 日時：2025年3月8日（土）11：30～14：15 天候：晴
2. 開催場所：大阪市北区 大阪駅前第一ビル12F 「神仙閣大阪店」
3. 参加人数：30名（昨年同様女性5名は画期的）今回来賓者は皆無

4. 開催内容：

①横山副支部長の司会により開会宣言があり、広島分会及び四国分会の分会長を始め、女性5名の参加を得て総勢30名になったことに謝意があった。昨年度の物故者8名に対して、全員で黙祷を捧げた。

②続いて水野支部長より挨拶があり、今支部総会が多数の参加者（特に女性が5名）となったことにお礼の言葉があった。美味しい神仙閣の料理を召し上がりながら、また今回は来賓やバンド演奏もなく、ごく内輪での開催にて、ザックバランに親睦を深めていただきたいとあった。例えていえば、会場は新幹線こだま号の自由席気分ですともあった。

トピックスとして中部支部が今期より金井支部長に交代の上、若手女性3名が新たに幹事となり、中心的役割を果たすべくスタートしたことを披露された。

企業年金については会社の3月末の決算予測で売上9.2兆円、経常利益2400億円、純利益1,450億円と好調。株価全体はトランプの再登場でかき回されているが、当社株は1,000～1,050円台と比較的安定、配当も32円の説明があった。（話題の日産自動車は存続が厳しい予想、倒産の危機も。経営陣の年俸が高すぎ、役員数も問題）

昨年の支部活動は充実した内容で実施できた。「史跡散策の会」は200回を達成、旅行会で行った黄檗山萬福寺は、その後伽藍が国宝指定された。普茶料理も美味しく好評だった。

その後、支部役員の紹介があり、全員留任が告知された。今期の計画では5月例会で健康セミナー【介護や福祉について・要支援・要介護制度の色々】を開催する。

5月22日には明石海峡大橋と舞子ピラを予定する。また多数の参加を呼び掛けた。6月は東京での拡大支部長会議と翌日の全国大会開催の案内あり。

その他、阪神大震災から30年、阪神球団設立80年、大阪・関西万博4月開催についても案内あり。

③生嶋会計幹事から前期会計報告があった。吉田会計監査より監査報告があり、適正・正確との報告がなされた。生嶋会計幹事は昨年オークションの開催がなく、寄付金残高がわずかとなり、参加費のアップを考えるともあった。

④葛野事務局からの連絡事項として、会員との連絡方法強化の取り組み説明があり、関西支部グループLINE 参加への呼びかけがなされた。また、5月22日支部旅行会の内容説明があった。



⑤第二部の懇親会は吉田会計監査が進行役になり、まず乾杯の挨拶・発声を木村（勤）さんをお願いした。木村さんは80歳を越えると懇親の機会が大幅に減ってしまう。その理由は幹事、世話役の不在に尽きると。その点社友会関西支部は、幹事の皆さんが尽力してくれ今日も楽しい懇親会が実現できている。感謝したいとお褒めの言葉を頂いた。





遠来の広島分会長の太刀上さんよりご挨拶を頂き、以降久しい参加の会員数名より順次近況報告がなされ、爆笑も出て盛り上がりを見せた。

最後に四国分会長の松谷さんより中締めのご挨拶を頂戴した。大阪駅と新大阪駅を間違えたエピソードも披露された。全体集合写真を撮って解散となった。なお二次会参加者も20名に達したことを付言します。



以上 文責：山口